

付 録

ここでは、用紙規格や印刷範囲、インク・リボンの交換方法などについて説明しています。

用紙規格

単票用紙

用紙の種類：上質紙，再生紙，感圧紙，裏カーボン紙

用紙幅：100～420mm（ハガキ縦～A3横）

用紙長：90～364mm（ハガキ横～B4縦）

用紙重量：単紙：45～135kg

複写紙：26～110kgの感圧紙又は，34～70kgの裏カーボン紙

コピー能力と複写枚数（オリジナルを含めて）：

コピー強化モードのとき：最大8枚

通常モードのとき：最大6枚

高速モードのとき：最大5枚

ASF（オプション）のとき：最大5枚

複写紙の厚さ：最大0.5mm（合計）

複写紙のとり方：上端線のりとし（ASFでは下端線とし）



メモ

上に示したコピー能力は目安です。使用する用紙の紙厚によって使用できる枚数が異なることがあります。

連続用紙

用紙の種類：上質紙，再生紙，感圧紙，裏カーボン紙

用紙幅：102～406mm（4～16インチ）（ASF使用時は4～15インチ）

用紙重量：単紙：45～135kg（フロント・トラクター），

55～110kg（リア・トラクター）

複写紙：26～110kgの感圧紙又は，34～70kgの裏カーボン紙

コピー能力と複写枚数（オリジナルを含めて）：

コピー強化モードのとき：最大8枚

通常モードのとき：最大6枚

高速モードのとき：最大5枚

（リア・トラクターでは最大5枚となります。）

複写紙の厚さ：最大0.5mm（合計）

複写紙のとり方：2P～8Pではスプロケット孔付近で両側点のりとし（千鳥とし），又は2P～4Pの場合，両側紙ホチキスとし（ダブルギャザ）が使用できます。



注意

金属ホチキスとしは機器を破損させるので使用しないでください。



重要

複写紙に印刷した場合、オリジナル紙と最下部の用紙との間には、最大 1mm 程度の上下のずれを生じることがあります。

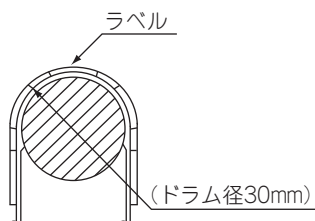
ラベル紙

品質 : 紙ベースのほかに、銘板用のポリエステル、ビニール、アルミ箔などが一般に流通していますが、貼付け強度の弱いもの、印刷後のインクの定着が悪いものもありますので、印刷テストを行い問題のないことを確認してからお使いください。

台紙寸法 : 102 ~ 406mm (4 ~ 16 インチ)

用紙厚 : ラベル+台紙が 0.2mm 以下、ラベルの厚さは 0.1mm 以下

ラベルの貼付け強度 : 次の条件でめくれないものとしします。



巻付けドラム径	30mm
巻付け角度	180°
巻付け時間	24時間
周囲温度	40℃
周囲湿度	30%RH

ラベルのプリンターへの貼付きを防ぐため、次のタイプのラベル紙をご使用ください。

カストリなし : ラベル周りのカスを残したタイプ

ハーフカット : ラベル外周のカットを一部カットせず残したタイプ

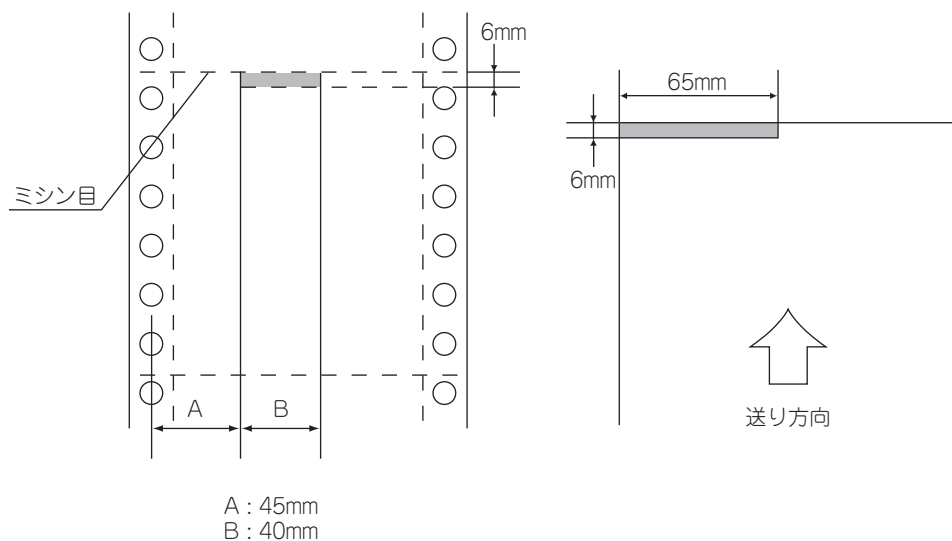
事前印刷紙

●光反射率 50%以下の色（例えば黒）の事前印刷をする場合は、次に示す着色部分は避けてください。

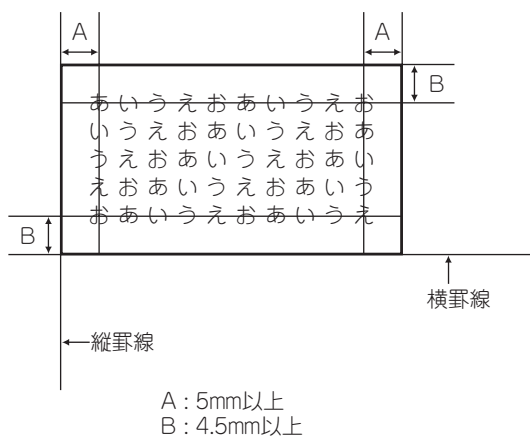
単票用紙ではとじ穴をあける場合もこの範囲にかからないようにしてください。

・ 連続用紙

・ 単票用紙

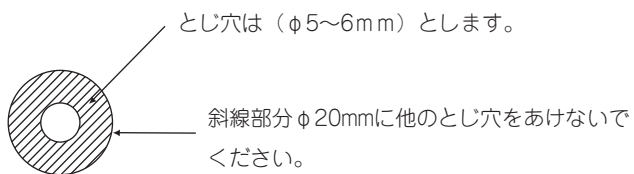
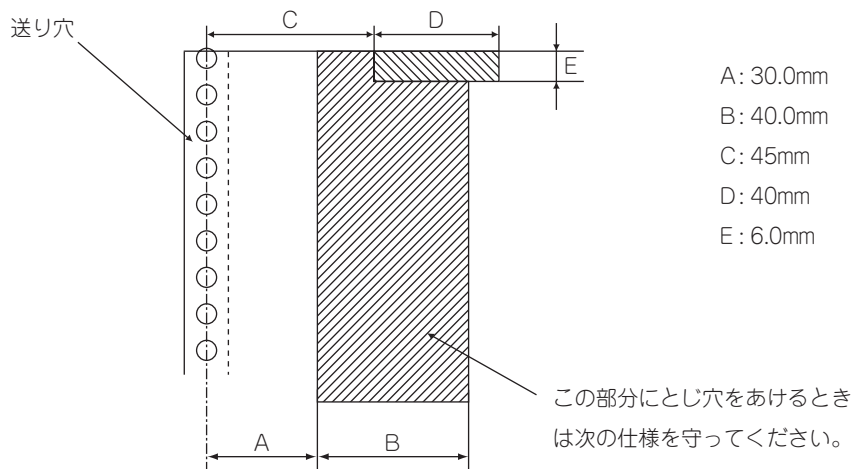


●印刷枠、罫線を事前印刷する場合は、用紙セット時の誤差、及び改行ずれ、コピーずれを考慮して上下、左右にマージン（余白）をとってください。



事前セン孔用紙

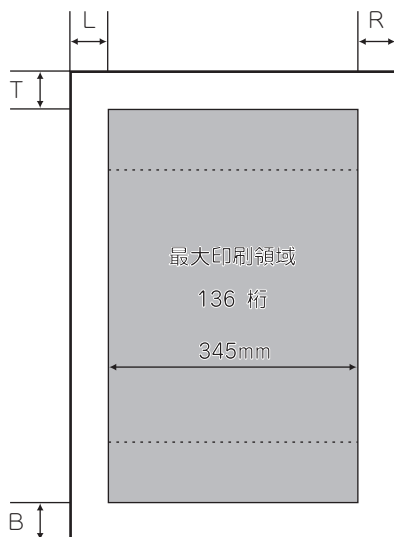
穴や切欠きを事前に設ける場合は、次の図の斜線部分にかからないように配置してください。



印刷範囲

単票用紙

用紙の端に近い部分に印字すると用紙にしわがよったり、用紙詰まりが起きやすくなります。用紙からはみ出して印字を行うと、印字ヘッドやプラテンが破損することがあります。次の図の印刷範囲内に印刷してください。



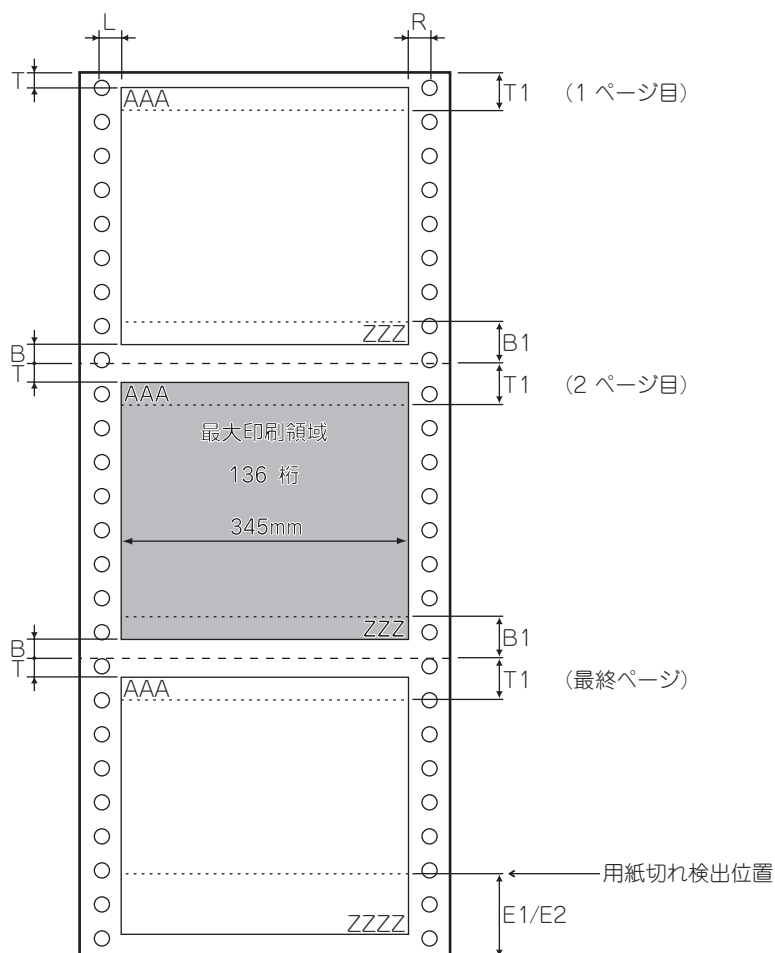
- L : 左マージン : 最小6.4mm
- R : 右マージン : 最小6.4mm
- T : 上マージン : 最小6.4mm
- B : 下マージン : 最小6.4mm



ポイント

- ・ A3 横の L : 左マージンは 25.4mm 固定です。

連続用紙



- L : 左マージン : 最小6.4mm
- R : 右マージン : 最小6.4mm
- T : 上マージン : 最小6.4mm
- B : 下マージン : 最小6.4mm
- E1 : フロント・トラクター : 約142mm
- E2 : リア・トラクター : 約113mm



1ページ目のT1で、約48mmとそれ以外のミシン目の前後約1インチ(B1とT1)の範囲では、改行精度などの印字精度が落ちることがあります。

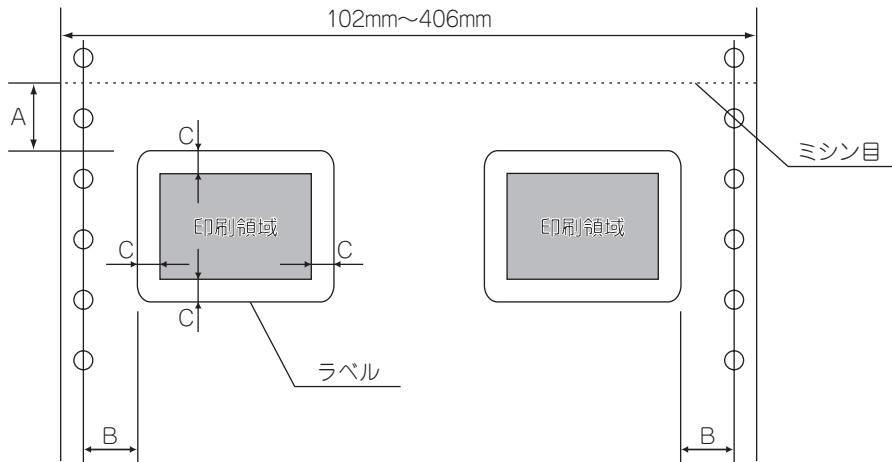
●連続用紙の用紙切れ（用紙終了）

連続紙モードで用紙切れを検出したとき、プリンターは、最終ページの下端から約 142mm（リア・トラクターでは 113mm）のところで印刷を自動的に中断します。印刷は不可状態となり、点検ランプが点灯し、**103 ヨウシヨセットシテクダサイ**が表示されます。

連続用紙が印刷中に用紙切れとなった場合は、印刷業務を取り消し、新しい用紙をセットしてから印刷を再開してください。そのまま最終ページの印刷を印刷可能域下端まで印刷する場合は、用紙切れ状態（点検ランプが点灯し、**103 ヨウシヨセットシテクダサイ**が表示される）で印刷スイッチを押します。1 行を印刷し再び用紙切れ状態となります。この操作を繰り返すと論理ページ長（ソフトウェア又はプリンターの初期設定機能によって設定されたページ長）の最終行まで印刷できますが、以下の注意点を守ってください。

- プリンターが認識しているページ長と実際に使用している用紙のページ長が異なる場合は、途中で印字を終了したり、プラテンに印字する危険がありますので、必ずページ長を合わせるようにしてください。
- 用紙切れページの最後及び次ページの最初に LF 又は ESC% 5 コードが設定されている場合は、用紙を再びセットし、次ページを印刷する際に、改行スイッチを使って先頭行位置を合わせてから印刷を始めてください（次ページの最初の LF、ESC% 5 コードは、取り消された形となるからです）。
- トラクターから外れた状態で用紙が送られますので、印字ずれが起こることがあります。

ラベル紙



記号	寸法 (mm)
A	2.5以上 (1/10インチ)
B	6.4以上 (1/4 インチ)
C	2.5以上 (1/10インチ)

用紙の保存

規格に合った用紙でも、保管が悪いと変質してしまうことがあります。変質した用紙は給紙不良や紙詰まりの原因になったり、印字品質が落ちたりします。用紙を保管するときは、次のことを守ってください。



ポイント

- ・ 用紙は特に水分を嫌いますので湿らせないようにします。
- ・ 用紙の包装紙は、乾燥や湿気を防ぐ働きをします。使用するまでは包装したままにしておいてください。また、使用しない用紙は包装紙に包んでおきます。
- ・ 平らな場所に保管します。
- ・ 床面は一般に湿度が高いため、用紙を床に直接置かないようにしてください。
- ・ 用紙が丸まったり、折り目がつくような置き方はしないでください。
- ・ 用紙を立てて保管したり、多く積み重ねないようにします。
- ・ 直射日光の当たる場所や乾燥した場所、湿度の高い場所の保管は避けます。
- ・ 風通しの良い場所に保管します。

用紙に関する注意

用紙を大量に購入して使用する場合は、注文する前に必ず試し印刷をしてください。用紙が正しく送られること、印字が明瞭であることを確かめてください。

次のような用紙を使用すると、紙送りが不安定になり紙詰まり、用紙折れ、及び印字ずれを起こす場合があります。



ポイント

- 部分的に厚さの異なる用紙
- のり付け面が露出しているもの、波打っているもの、はがれているもの
- 金属のついている紙
- 切抜き部分及び窓のある紙（とじ穴付き用紙も含む）
- 浮彫りのある紙
- 折りたたんだ紙
- 紙の端又は角が切れていたり、折れている紙
- 極端に薄い紙又は厚い紙（用紙規格を満たさないもの）
- 光沢紙や写真付き紙ハガキ等、表面、裏面がツルツルしてすべりやすいもの



メモ

マルチ・パーツ紙の場合、オリジナルを含めて8枚以内（リア・トラクターでは5枚以内）で、用紙厚最大0.50mmを超えるものは使用できません。オリジナルだけの場合、単票用紙は45kgから、連続用紙は45kg（リア・トラクターでは55kgから）から使用でき、共に最大は135kgです。

- 小さすぎる紙及び大きすぎる紙
用紙規格を満たさないもの
- わん曲した紙（平らな所に置いたときのカール高さが約5mm以上のもの）



メモ

高温、多湿の場所での用紙の保管は、カール又はシワ等の発生の原因となりますので避けてください。用紙がカールしている場合は、用紙を平らになるように逆にさばいて、カールがなくなるようにして使用してください。用紙には、繊維の配列からみてすき方向は、縦目と横目があります。5557-H02 シリアル・プリンターの場合、走行方向の縦すき用紙が適しています。用紙を発注する際、メーカーに“縦目用紙”を指定してください。

なお、用紙は白色上質紙を使用してください。

- 再生紙
5557-H02 は、100%再生紙（MSP-R）をサポートしています。用紙については、下記宛てにお問い合わせください（Tel. 03-5563-3886）。



重要

複写紙、ラベル紙、事前印刷紙等の特殊紙を使用する場合は、事前に十分な印字テストを行い問題のないことを確認してください。